

みなみかぜ



南台病院 広報誌
平成 29 年 1 月 Vol.7

南台病院の今後の展望

南台病院長 下山 克也

国は、これからの高齢化社会を見据え、高齢者をできるだけ在宅での看取りを
ふくめ介護、療養型に移行しようとしています。

今後、基幹病院のみでは、全ての患者を受け入れることは不可能になると予想
されています。当院では、受け入れ可能な患者について、積極的に受け入れるよ
う努めると共に、近隣の基幹病院との連携を深め急性期疾患治療後の在宅や施設
での一時的な受け入れ、看取りなどにも力を入れ地域との結びつきを強めていき
たいと考えています。

黎明会には特別養護老人ホームやすらぎの園、介護老人保健施設けやきの郷な
どがあり、これらの施設と今まで以上に連携し、施設の利用者に適切な医療、介
護ができるよう努めていきます。また、訪問看護、訪問介護、デイサービス、訪
問リハビリなど黎明会の在宅サービス事業とも連携を強化し、地域の方のお役に
たてるように努力してまいります。

また、市民健診や人間ドック、企業健診などの事業を一層推進し、地域住民の
健康の維持・向上に努めると共に、病気の早期発見などの医療活動を通して地域
の方々に信頼される病院づくりをめざします。

「無料なんでも医療相談」のご案内

日 時：第5週を除く水曜日、午後 3 時～3 時 30 分

場 所：南台病院 外来診察室

※事前の予約は不要ですので、受付窓口又は外来看護師まで、お気軽に声をお掛け下さい。

実施日	担 当	実施日	担 当
1月 4日(水)	勝見副院長	1月11日(水)	地域連携室
1月18日(水)	看護部	1月25日(水)	放射線科

※過去の相談内容：健診の結果について・LDH、CRP、白血球等の検査項目について
貧血改善に向けた食事相談について

ま め 知 識

腰痛ベルト（コルセット）は必要？



腰痛に悩まされている時、湿布と同様にコルセットを使用する方も多いかと思います。

そこで、今回はコルセットの基本的な知識をご紹介します。

コルセットは腰痛を治すものではなく、腹筋や背筋を助けながら、痛みの出ない姿勢を保つために

使います。また、力仕事をされている方が腰痛の予防に使用するのも有効です。

コルセットを装着することで腹部の内圧が上がり、体の中から体を支え腰椎の負担を減らすことができ、腰痛が和らぎます。コルセットの代わりにタオル等を腹部にしっかりと巻くだけでも同じような効果が得られます。

注意点として常にコルセットをしていると腹筋や背筋の筋力低下を招く恐れがあるので、痛みが和らいできたら、コルセットを外す時間を増やし、腹筋や背筋の筋力トレーニングを少しずつ行っていきましょう。



当院では毎週土曜日の午前・午後とも外来診療を行っております。ご利用下さい。

年始は1月4日（水）より、通常診療を行います。

診療受付時間（月曜日～土曜日） 午前：8時30分～11時30分 午後：1時～4時